

「全国共有ストレージ」 今後の方向性について

2024年9月11日@WEB

2025年度県本部情報担当者会議

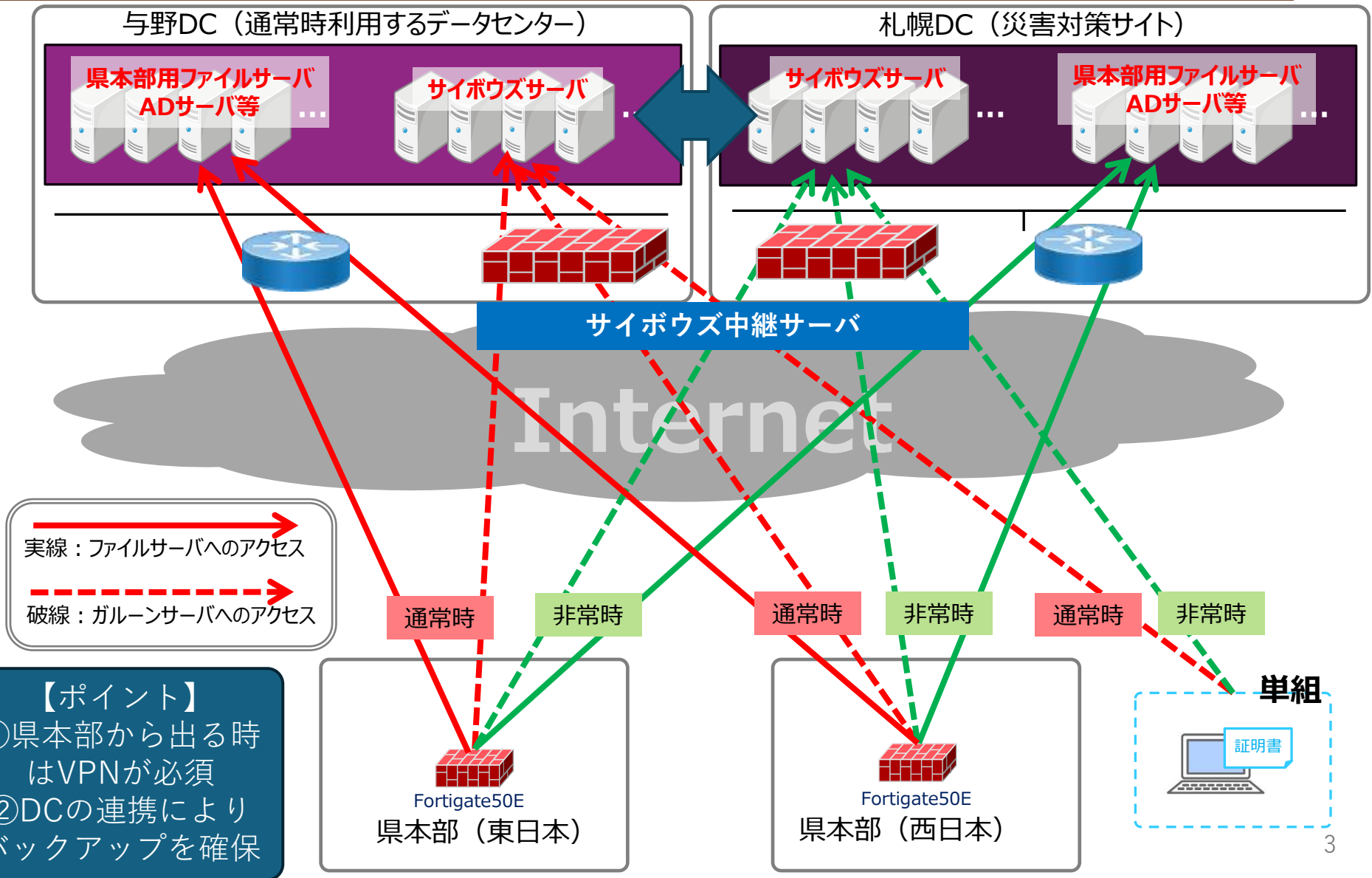
自治労本部 総合企画総務局（情報担当）

（株）自治労サービス ITセンター

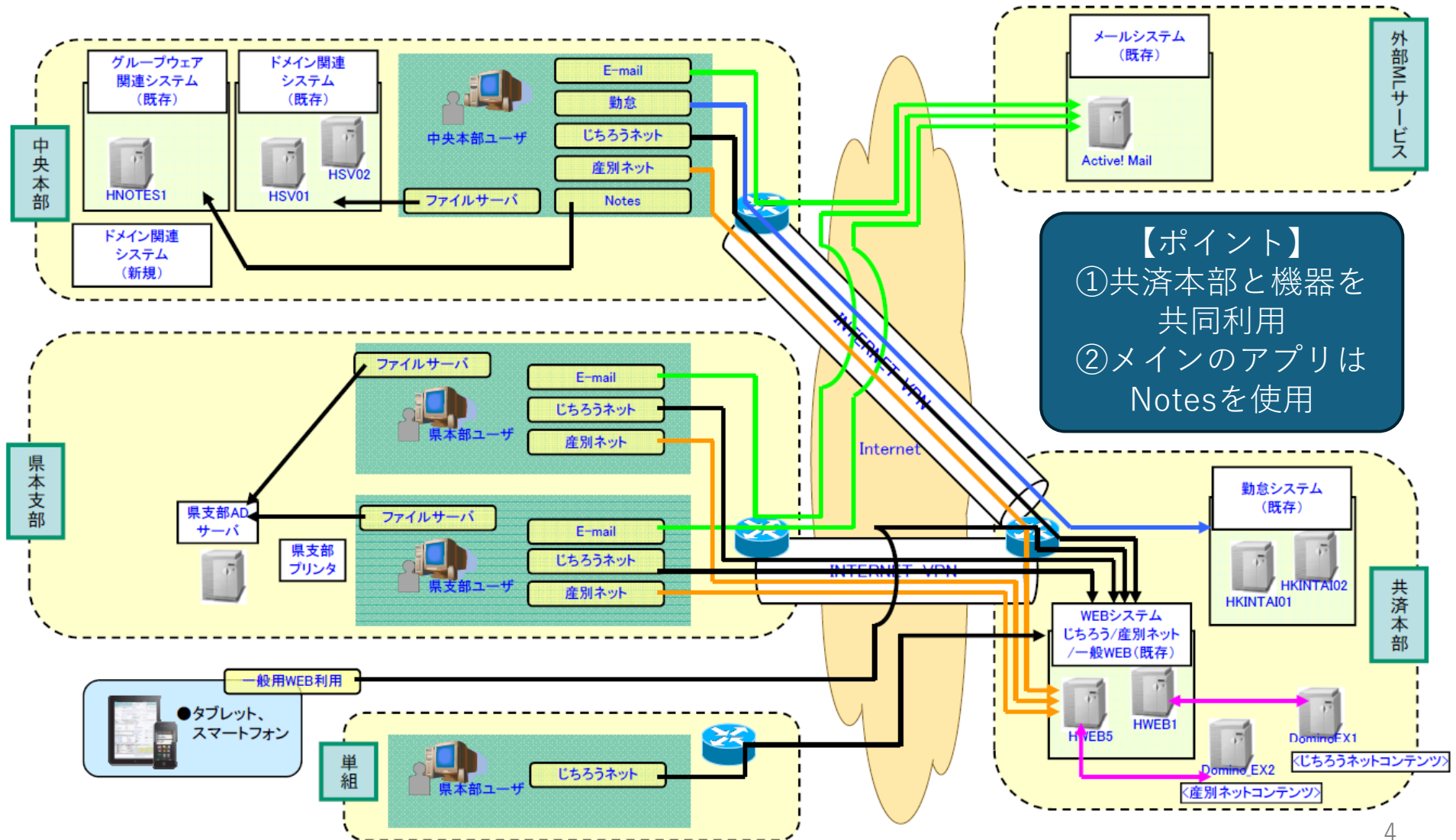
1. はじめに

- ① 2014年1月より「産別ネット・じちろうネット」の運用を開始。同年6月から「全国共有ストレージ（本部・県本部用ファイルサーバ）」を展開。
- ② 現環境は、自治労共済の全労済統合に伴うシステム環境の変更、「BCP（事業継続）」の整備など外部環境の変化に合わせて変えてきた。
- ③ 現環境へのシフトから10年が経過し、世の中はスマホの普及、高速インターネット、大容量のデータ通信が一般化している。
- ④ 現ネットワーク環境は徐々に「時代遅れ」になりつつある。
- ⑤ 次期サーバー入れ替え（2028年4月）を見据えた方向性を提案。

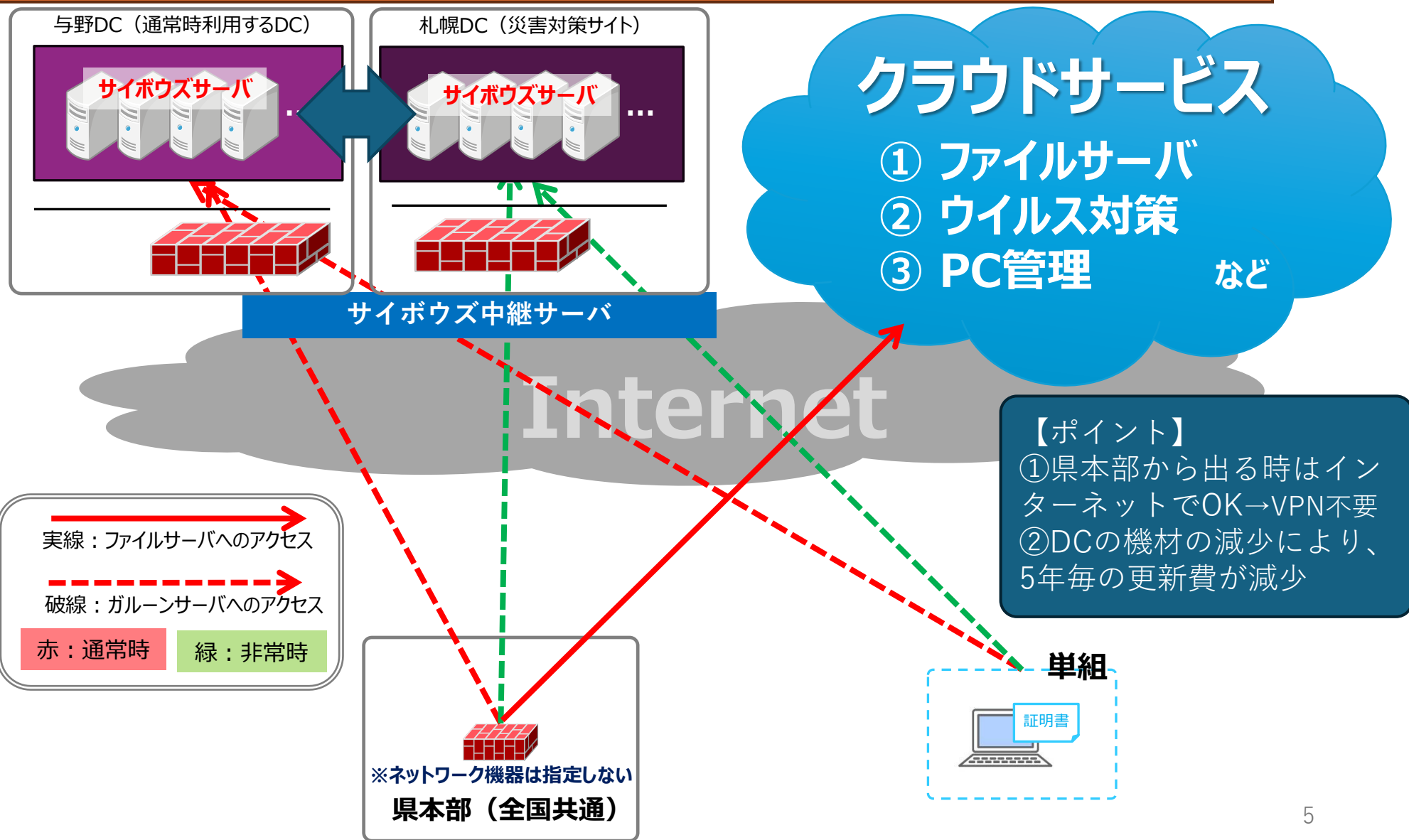
2. 現在の「全国共有ストレージ」のネットワーク図



3. その昔のネットワーク図（～2014年5月）



4. イメージするこの先のネットワーク図



5. 時代や働き方の変化とニーズの多様化

- ① スマートフォンの普及による社会変革と、デジタルネイティブ世代の増加。大容量通信が基本になり、いつでもどこでも高速インターネットにつながる社会に。
- ② 自治労の組合員数の減少と、それに伴う予算の再考。円安や原材料費の高騰に伴うIT投資単価の上昇傾向。
- ③ コロナ禍による働き方、運動の変化。リモートツールの活用や、Zoomなどを活用した運動の定着化。

6. 変化に伴う方向性の検討について

- ① 組織・財政状況に見合ったシステム投資の検討
- ② 県本部ニーズの把握。
- ③ ランニングコストの抑制方法の検討と、サポートレベルの選択制の導入検討
- ④ PC利用の自由度の向上

7. 今後の「全国共有ストレージ」の方向性について

① ファイルサーバーのクラウド化

→現在、サービスの選定にむけて調査を行っています。

② 本部・(株)自治労サービスITセンターのサポート継続

→ITセンターの「電話」「ガールーン」「遠隔操作」によるサポート体制は継続します。

③ 今後のアンケート結果によっては、県本部のニーズに応じたサポート形式を選択できる方法も検討

→県本部のニーズを把握し、今後の自治労の規模感・財政感と利便性のバランスの取れた仕組みを構築し、県本部がITのサポートレベルに応じて維持費を選択できる仕組みの導入を検討します。

8. アンケートやります & 今後のスケジュール

① 県本部むけアンケートを実施します（**9月末締切**）

→県本部ニーズの現状把握、今後の方向性についての感想

② 今後のスケジュールについて

◆24年9月：アンケート実施

◆10月：アンケート結果の概要報告

◆12月：ウイルス対策ソフトの先行導入（1～2県本部）

◆25年1月以降順次：新ウイルス対策ソフトに移行

※アンケート結果を元に、2028年4月のサーバー入れ替えを目処に、徐々にクラウドサービスへの移行をめざします。